

創造マニュアル

くしろ

観光都市

巻き起こせ!
観光スパイラル!



観光都市くしろ 創造マニュアルプロジェクトチーム

外国人観光客との接し方



(海外からのお客様を迎えるにあたって、
わたしたちが大切にしたいこと)

まちづくり・お店づくり

くしろ地域での外国人観光客受入の実践者たち

point 1

- ・外国人観光客受入の増加をビジネスチャンスととらえ、いち早く対応している企業・団体
- ・くしろ地域がもっと魅力的な観光地になるためには？
- ・改善して欲しいこと

訪日外国人観光客の暮らしている国を知ろう

point 2

- ・外国人を受け入れる前に知っておきたい文化・習慣＆お国柄事情
- ・外国人を受け入れる前に知っておきたい注意点

施設における実践的なマニュアル

point 3

- | | |
|-------|-------|
| ・宿泊施設 | ・商業施設 |
| ・飲食店 | ・交通機関 |
| ・観光施設 | ・共通事項 |



外国人観光客受入の増加をビジネスチャンスととらえ
いち早く対応している企業・団体

受け入れ体制としては 各国の国民性のある程度 理解しておくことが重要

JTB北海道 釧路支店地域観光促進ディレクター

羽柴 渉 氏

——釧路市のJTBのツアーにいろいろな
発案されていると思いますが、その釧路市
の取り組みについてどう思いますか？

まずは、ハード面なのですが、他の日本国内の観光先進地に比べると案内板の多言語表記がやはり少ないように感じます。最低でも英語表記は必要かなと思っております。あと、入場施設や公園などの洋式トイレの整備です。外国人は和式トイレを嫌がります。トイレが清潔というだけでも「釧路に来てよかったな」という印象が、だいぶ変わると思います。

あと、ソフト面なのですが、やはり一番大事なのは、外国人観光客に対してのおもてなしの心を育むことが重要だと思います。外国人は基本的に日本人の英語力に対しては期待をしておりません。これは間違いないと思います。

外国人に対してどう接すればいいかなのですが、日本語でゆっくり話しても正直通じません。あとは簡単な英単語とジェスチャーでも一生懸命伝えようとする姿勢を見せれば必ず思いは伝わりますので、その辺を地域住民の皆さまに分かっていただければなと思っています。

——外国人向けのツアーなどを組んで活動をしている中で、気を付けていることがありますか？

『郷に入っては郷に従え』という言葉があります。非常に大事な言葉です。でもそれにプラスアルファでお迎えをすれば、もっと

感動していただけるのではないかと思います。

それで私どもの受け入れ体制としては、各国の国民性のある程度、理解しておくことが重要だと考えております。一例ですが、中国系の方は、真夏でも冷たいコーヒー等嫌がります。また、せっかく海鮮の立派なお弁当を持たせても、冷たいごはんを食べません。また、欧米系の方は和食の食事でもおはし以外にフォークとスプーンを出してあげると喜びます。そういうことを理解することを重要視しています。これからは、東南アジア系のイスラム教徒の方々も、多く来釧路することが想定されますので、今後はハラル対策などの整備が必要になってくるだろうと思っています。

——ツアーで外国人観光客の満足度を上げる事に対して、どのようにお考えですか。

英語表記のメニューを置いている店は33%とメニューを置くことは、店側としてはレベルが高いのかなと思います。ただし、食品サンプル。これは外国人に人気があります。食品サンプルで指さしをしてあげれば理解できますので、お客様が困っているようなら積極的に声をかけてあげる姿勢が大切だと思います。それで、十分外国人に満足いただけると思っています。

——外国人観光客を受け入れるためのマニュアル制作というところで、アドバイス等ありましたらお聞かせ願います。

観光に対して専門的に携わってこなかった方々が、このようなマニュアルを作成するということは全国的に見ても画期的な事だと思っています。マニュアルは、あまり難しくなく子供からお年寄りの方まで理解できるように簡潔なものが良いと思います。例えば小学校や老人ホームなどの施設等で配布してもらえような内容が良いと思います。前段でも伝えましたが、各地域の特徴をつだけども覚えて海外の方に対応すると私たちの国の事を知ってくれて「ありがとう」といった気持ちになると思います。その積み重ねが観光都市くしろの地位を引き上げてくれるものと確信しています。



外国人観光客受入の増加をビジネスチャンスととらえ
いち早く対応している企業・団体

おもてなしの気持ちには お金がかかりません

KUSHIROおもてなしグルメフェスタ実行委員長

菅野 貴光 氏

2

——さまざまなイベント等を行う中で、外国人へのおもてなしにつながる活動といったところを行っていると思うのですが、これからの課題というところではどのようにお考えでしょうか？

昨年から実施している、『おもてなしグルメフェスタ』ですが、こちらは「外国人を受け入れる気持ちの醸成」という部分を担ったイベントとなっております。もともと、ザンギのイベントで使っていた手法で、何かしらに、市民の方たちに投票してもらうということを通して、意識醸成をしていくというプログラムを活用させていただきました。今回実施したいイベントに関しましては、おもてなし部門というものを設けまして、おもてなしの姿勢が非常に優れている店舗に投票してもらうという手法をとって、投票する側、投票される側、どちらも「おもてなし」というものを意識するような体制を取るようなイベントとして実施させていただいております。目的は一応一通り果たせたと思うのですが、まだ二部の8000人ほの方たちだけに醸成されていない部分がありますので、こちらの方は継続した中で、また課題をさらに設けて、今後インバウンド対応ということで進めます。外国人がお客さまということで、外国人をおもてなしする内容になっている。そして商品や地域の魅力を伝えるというものを確立した中でイベントということで、進化していきたいと考えております。

——外国人観光客の受け入れに対して、イベントを通じて意識醸成を行っているという点ですが、問題点と今後の方向性について教えてください。

多くの意見がありました。外国人をひとくくりにはできません。国によって考え方や文化は違うので、先ずは知ることが大切です。そして、自分自身の状況を知る事です。敵を知り己を知れば百戦危うからずと言言葉があるように、おもてなしの気持ちにはお金がかかりません。インフラ整備はお金がかかりますけども、「気持ち」はお金をかけずにすぐできる事なので行動に移すことが重要なかなと思います。

——飲食店を経営していると思いますが、釧路の飲食店に関して外国人の受け入れ状況などを教えてください。

外国人ではなかったとしても、釧路に来る方はタブレットを持っている情報社会です。先で調べてから来ます。来たいと思ってくるわけですから、現地に来ただけ、こに行きたいと思っても表記が無かったり、伝えてくれる人が居ないと結局時間だけを使ってしまう魅力が伝わらずに終わってしまふことがあります。

Wi-Fi環境の整備に関しては、ハード面は行政にお任せした中で、私たちにできる範囲の中で考えて実践していく事が重要です。そこに、このマニュアルも生きてくると思います。そういう所から飲食店の方の意識を変える事も重要かと思っています。

——観光には各関係諸団体の連携が必要だと思のですが、菅野実行委員長が所属する商工会議所青年部では連携をどのように考えていますか。

広域連携に関しては青年会議所特有の平仮名で、「くしろ地域118つの市町村」としていますが、YEGではまちづくりが生き甲斐で趣味なメンバーが多いです。YEGでは釧路市の中心市街地の発展を主にして活動しています。連携も必要ですが、中心市街地を旧市街地と言われないように周遊ルートに出来るように活動していきたいと思っています。JC（青年会議所）と連携できれば良いかなと思っています。

——外国人観光客を受け入れるためのマニュアル制作というところで、アドバイス等ありましたらお願いします。

店側としてはノウハウがない、経験がないので、こういったマニュアルがあつて初めてからのスタートなのかな、と思います。作っても使ってもらわなければ意味がないので、今後もおもてなしグルメフェスタというイベントで出店者の方にマニュアルの一部を使わせていただく中でホスピタリティマインドを向上していければと思います。



地域連携をしあって 魅力を発信することが重要

釧路管内商工会青年部連合会 会長

大津 英大 氏

3

——主に観光に対する取り組みについてどう
思いますでしょうか？

私は釧路市内でも仕事はしているのですが、あくまでも鶴居村民でございますので、外から見た釧路市がどのような感じに見えるのかというので意見を述べさせていただきますと思います。

釧路市は観光立国ショーケースに選定されたり、国立公園満喫プロジェクト等に取り組んでいたり、ものすごく大変だろうなという思いはすごくしています。僕も鶴居村の観光協会で副理事長をさせていただいて、観光には携わっております。正直、今現在の様々な取り組みは行政的というか、悪く言ってしまうと、ちよつとお役所的な体質が強いのではないかと思います。そして、団体はどうしても会長であるとか、名誉職とか思っていないような人たちが携わっているの、あまり進んでいないのかなという思いはしております。基本的に観光というものは、生き物であつて一刻と状況が変わります。ですので、比較的、お金でしかつながつていない状況ですと、どうしても対応できない。そういったことであれば、やはりもっともつと地元でやる気のある企業、そして各町村と積極的な連携をして、その状況を加速させる必要があると思います。それによって、この道は開けてくると思います。

——具体的に鶴居村で、外国人を受け入れているといった活動は行っているのでしょうか？

鶴居村でも、長期滞在型観光というかたちで、2600人の小さな村で暮らす旅をテーマに、今二生懸命取り組んでおります。東南アジアから釧路に来て故郷に情報を発信し一部コーディネーター的な役割をしている留学生がいます。鶴居村の観光協会は、そういった方を講師に招き、講習会を開くこと、あとは英語表記ですね。英語表記は簡単にすればいいというものではなくて、自分たちはどういった表記をすれば、理解しやすいか。それに重点を置いて、あとは「ハロー」などの基本的な簡単なコミュニケーションですね。そういったものを勉強して

います。ですので、鶴居村は、基本的には住民の意識を高めようということをしています。あくまでも訪れる人も、それを迎える人も、みんな有意義で、鶴居村でいうと「村旅観光」と言っているのですが、そういったものを一生懸命行っております。

——くしろ地域の魅力を発信するために地域連携が必要かどうかということ、今後どのような活動を行えばいいと思いますか？

皆様にとって色々なプロジェクトは、釧路市のものだという認識があると思います。ただ、釧路市は観光資源の多い街なのか。と言う所に関して、丹頂や釧路湿原や海産物など沢山ありますが、その魅力は唯一釧路市が所有しているものなのか。また、魅力を語れるのかと言うと、私はNOだと思っています。例えば、釧路湿原に関して釧路がついているから釧路だと思つてもいいませんが、全体の65%以上は他町村の標茶町・鶴居村・釧路町で締めています。皆様、釧路と言う異国と言うポスターを見ると思いますが、これに関してはほぼ釧路市ではなく鶴居村や標茶町。カヌー乗り場も標茶町と釧路町にあります。そう考えると、色々なところがバラバラなのです。釧路市は鮭、秋刀魚、イカはありますが、釧路産の牡蠣や帆立はあまり聞かないと思います。都市に集中するのはわかりませんが住民の皆様は自信を持って説明できるのでしょうか。私は鶴居村民だからこそ日本のチーズを保有しているという自負があります。それは皆様も分らない事だと思つたので、そういう所で連携が必要だと思つたので、そういう長く滞在してもらつて満足度を上げないとならない産業です。くしろ地域に来たら、阿寒湖畔に行つて夜はおいしいものを食べようではない、釧路に来たら阿寒湖もある。摩周湖もある。湿原では標茶でカヌーもできる。鶴居では他国観を感じる事が出来るよ。厚岸ならウイスキーも牡蠣もあるよ。これが「くしろ」なんですと言つたPRをしていった方が良く思つたと言つた各町村がWINXWINのおこる事のない周遊ルートのプランニングが必要となつてきま

す。やはり、お互いの足りないことを補つて連携をしあつて魅力を発信して地域団体が連携し合つて一緒になつて発信していく事が重要だと思います。

——地域連携にあつて、今後どのような活動が効果的かを教えてください。

今後の活動に関して、一つの財産を共有するには連携が必要だとは思っています。連携に関しては、どの団体でも話していますが、口だけだつたりします。基本的に連携は1+1が2になり、2+1は3になると言うようなものです。地域の魅力を大きく発信できます。経済効果もあります。観光客も満足します。連携すればそういったことを発信できるはずなのに出来ない。そこには何らかの障害があります。そこは、人と人との関わりがあるというのが一番です。やる気が無い人が居れば、やる気のある人もいます。若者の時代とか若者の発想力が大事だと言つても、現実には若者が関わつてないのが実情だと思つています。私が意見しても、聞いてもらえない場合もありました。お祭りの日程を1日変えるのに7年かかりました。結局、人が変われば上手くいく事もいかな事もあるのです。独自の考えや地域性があると上手く行きません。地域連携に関して上手く進めるためには連携先同士の情報交換と人と人との交流をしないといけないと思います。でも「じゃあやつてください」と言われてすぐ出来るかと言えは難しいと思つたので。だからこそ、釧路青年会議所や商工会議所や商工会青年部など二生懸命やっている方々たちが連携をして自分たちが接着剤のような形で地域を密接にくつつけていく必要があります。観光には連携が必要だ。と話していますが、観光以外では連携を行っています。病院にしても、交通機関にしても釧路市を中心に団体が連携しています。観光も然りです。観光だけではなくても良いという事はありません。経済発展にも関わっています。道東最大の都市である釧路市が中心となつて一つの発信を共有し、発展のきっかけになると思います。



英語ができなくても 本当に寄り添いたいという 気持ちがあれば伝わります

釧路国際交流の会 会長

横山 博子 氏

4

—— 今までの活動・経験を踏まえた中で、釧路地域の観光の現状について思うことをお聞かせください。

私たちの団体は今までJICAとか色々な団体を通して、外国の方と接する機会がありました。先日『シーボーン・ソジャー』というクルーズ船が初入港し、国際交流サロンを置きまして、いろんなブースを設けております。着物なりの折り紙なり、それからアイヌ文化の紋様のファイルの作成やお琴の演奏もあります。基本的に英語を話せないから外国の方と交流ができないということはないと思います。英語ができなくても、本当に寄り添いたいという気持ちがあれば伝わります。ですから、私も今日は日本語で「こんにちは」と話しかけると、ほとんどの外国人の方が「こんにちは」と言ってくれます。せっかく日本に来たのですから、「こんにちは」「さよなら」という挨拶を覚えて帰っていただきたいですね。肩の力をぬき、一人一人寄り添う気持ちで、やはり外国の方との接する基本だと思っています。いつも外国の方々はとても笑顔満開で帰っております。国際交流サロンは国際交流を通して楽しい思いをしております。英語を話せなくても交流できるということが十分わかると思いますので、皆様をお待ちしております。

—— 言葉が伝わらなくても心から歓迎する気持ちが必要だという説明をしていましたが、そのところを説明いただきたいと思います。

本当に簡単明瞭なことでありまして、人間対外国人というよりは、人間対人間であります。私たちの団体にはもちろん英語のできない方がいます。私の方の年代になると、「国際交流は英語できないとダメだわ」なんていう方が結構いますけど、その垣根を取るためにも、日ごろ外国の方と接する機会が釧路市には随分あります。

多くの外国人が来ています。商店街の方々はお店や路上を歩いている外国人に気楽に「こ

んなちは「ハロー」「ナイストゥミートゥー」と挨拶しましょう。これだけでも、本当に笑顔で返ってきます。やはり、観光と言いますと、ハード面の建物を立派にするだけではなく、ハード面はややはり市民が外国の方を親切に受け入れることです。

そして私たちは、この釧路が素晴らしいところだという誇りを持って伝えられる、そういう情熱を私たちが育むことだと思うのです。ですから、いろいろな機会があったときに、ぜひぜひ声をかけてください。「こんにちは」でもいいです。「ハロー」でもいいです。「シンチャオ」でもいいです。ベトナム語ですけどね。なんでもいいのです。要は「あなたの気持ち！ ようこそ！ 素晴らしいです！」という態度を見せれば人間ですから通じます。そういう気持ちで市民の方々が持つことが一番基本になり観光立国シヨーケースになつていきます。私はそこだと思っています。そうすることで、国際都市釧路には世界中からリピーターが来るでしょう。一人から二人に伝わりますので、アットホームで感動のある旅を与えましょう。

—— 活動の中で、いろいろなことをしていると、日本の魅力を伝えていくのかと思うのです。少しご説明していただけますか？

日本は本当に魅力的で、例えば着物は、日本人が着ると、日本人らしいという気持ちになります。過去、日系3世の方やカナダから夫婦がいらつしゃった時、着物を着せてあげました。その後、その方々が帰ってからお礼状が届きました。着物を写真と共にとりだしました。それと、釧路の市民の「婦人から、しじみの貝で作った根付けを60個も作って、これを海外の方にあげてください」と言って持ってきてくれました。その時に「英語は話せないですよね」と言うので、私がエスコートをしてあげました。そうしたら、外国人の方が年齢を聞いてきました。90歳で

す。こちら90歳と言いました。同じ年ということでお互いにハグをしました。ここでもまた素晴らしい国際交流を目の当たりにしました。垣根なんてありません。

私たちはよく歌でも「ミニケーション」をとります。キーボードを弾き、歌を歌います。以前、海外のオペラ歌手の方が来ました。イタリア人の方でイタリア語で「アベマリア」を聞きました。あのエググの大きな空間の中で、そのいる方は、本当に至福の時間を共有できたと思います。国際交流は、いろいろな感動の場面があります。ぜひぜひ市民の方々がもっと、この海外の船が来た時とかに、外国人に対して身近に感じてほしいと思います。そういう運動を促進していきたいと思っています。観光立国シヨーケースにはなつていきますけど、キャッチフレーズとしては、「ホスピタリティスマイル in 釧路」というかたちで、本当に皆さん一人一人が広げていただければと思っています。

—— 外国人観光客に対しての受け入れ方法が記されているマニュアルを制作するというところで、今までの話を通してマニュアル作成についてアドバイス・お考え等ありましたらお聞かせ頂きたい。

マニュアル作りも大事ではありますが、マニュアルだけ作ってもそれを利用されないという意味がない。他の団体にもマニュアルがあるが、その根底には海外の方を親切に迎え入れようという事が重要であると思う。そういった部分では私たち国際交流の会は大学生・留学生も含めて連携して、活動自体もどんどん広がってきている。今後、「おもてなし」を土台にしながら、釧路市のEGGで活動を行っています。難になり、羽ばたくことを夢見ながら市民の方と一緒に国際交流を、温かい気持ちで迎える事が釧路の人にはできると思っている。これも一つの観光の切り札と思っているので、皆様がんばりましょう。



韓国

【食べ物制限はないが健康に高い関心 = 薬食同源】

KEYWORD

- ・ 食事はあたたかいものを。
- ・ 提供時にオプション? (ニンニク、唐辛子、キムチ、コチュジャン、韓国のりなど)
- ・ 食事の時スプーンを使用。



- ◇五味を示してあげるとよい。「甘」「辛」「苦」「酸」「塩辛い」
- ◇食事の時お酒は、をよく飲みます。(ビール、焼酎ストレートなど)
- ◇韓国にもあるB級グルメも人気が高い。(たこ焼き・ラーメンなど)



中国

【多様な食文化と食習慣】

KEYWORD

- ・ 宴会文化。(量が多いことが最大のもてなし)
- ・ 食事説明をすると喜ばれる。
- ・ 生ものと冷たい食事は好まない。



- ◇量が多くバランスよい食事提供 (ビュッフェなど)を好まれます。
- ◇贈り物をする時は赤 (喜びの色)と黄 (皇帝の色)をよいとする。
- ◇酸っぱい食事は苦手とされる。



台湾

【食べて飲んで遊んで楽しむ】

KEYWORD

- ・ 目で食べる。
- ・ 食事にスープ。
- ・ 冷たいお弁当は食べないので注意を。



- ◇量があることで目で食事をたのしむ。
(①量②品数③味)料理小皿がたくさんあると喜ばれる。
- ◇食事とお酒を飲むところは明確に分けている傾向。
- ◇酸っぱい食事は苦手とされる。
- ◇スイーツにこだわり。◇デザートと食事全体の満足度が関係深い。



タイ

【雰囲気よりも料理のおいしさ】

KEYWORD

- ・食後には必ず甘いもの。
- ・宗教的な食事制限あり。(事前確認)
- ・写真映えるコンテンツがあるかどうかに期待。



◇日本食に非常に関心が高いが味がなじまない方には、
ナンプラーや砂糖、酢など必要。

◇食事中的飲み物は冷たい水かビール。

◇子供の頭であってもなでてはいけない。(頭は精霊の宿る場所とされる)

◇左手は不浄というマナーがある。(お手洗いで使用する方)



欧米

【日本ならではの丁寧さに期待】

KEYWORD

- ・エンタテインメント性を求める (スタッフによるサービス重要視)
- ・あまり冒険せず日本食の定番を頼むことが多い (寿司、テンプラ、日本そば)
- ・遅い時間の夕食を楽しむ (20 時以降)



◇文化的なものに関心高いので興味の入口になるようなものを
飲食店ならば置いているとおもてなしになる。

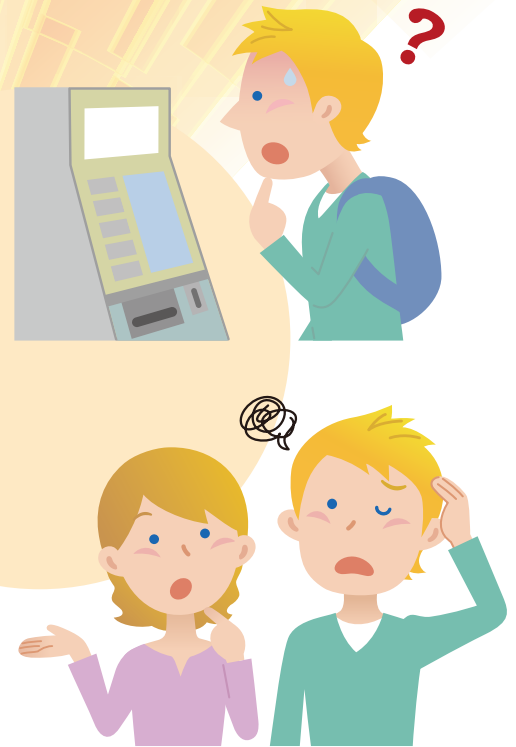
◇カロリー表示があるとよい。

◇スタッフとの会話も食事の楽しみとしているので
丁寧な接客を求められます。

point
2

外国人を受け入れる前に 知っておきたい注意点

- WiFi環境が整っていない。
- 最低限の環境整備すらされていない。
- 交通看板が日本語のみ。
- バス等二次交通が整備されていない。
- 言葉の壁や文化の違いがあり
「コミュニケーション」がとれない。
- 観光案内パンフレットや
飲食店メニューが日本語のみ
- クレジットカードが使えるお店が少ない
- 日曜日が休みのお店が多い



WiFi・交通網といった
ハード面の課題に加え、
飲食店等店舗における
ソフト面の課題も多い

先日有識者の方々や外国人旅行者に、当委員会がインタビューを行いました。そうしたところ、このような結果が得られました。無料で使用出来るWi-Fiスポットが少ないといったハード面の課題がある一方、飲食店舗等で英語でコミュニケーション取れないとか、日本語でしか記載されていないメニューで頼む事が難しい。等、体制改善の必要性を感じました。二次交通の整備や交通看板は皆様が改善することは難しいかもしれませんが、これらは解決可能な問題として取り組める内容であると考えます。

施設におけるマニュアル (宿泊施設)



英語
中国語(繁体字)
中国語(简体字)

あると安心！館内サイン& POPサンプル

外国人観光客をあたたくお迎えするホスピタリティの向上は、
観光地の魅力を高めるうえでとても重要です。
観光事業に携わる多くの皆様に広くご活用いただき、
外国から訪れるお客様をお迎えする際に役立てていただければ幸いです。

朝食について

Breakfast
早餐／早餐

午前6:30～午前10:00

6:30 AM – 10:00 AM
上午6:30～上午10:00／上午6:30至上午10:00

お部屋から出る際には、
部屋の鍵をお持ち下さい。
(自動ロック)

Please take your room key with you
when you leave the room (auto-locking system).

離開房間時，請務必隨身攜帶鑰匙（自動上鎖）。
走出房間時，請帶上房間鑰匙（自動鎖）。

お支払いは前払いをお願いします。

Payment is required in advance.
請先付款。／支付方式為預付制。

両替はできません。

We cannot exchange currency.
不提供外幣兌換服務。／不能換錢。

施設におけるマニュアル (飲食店)



英語
中国語(繁体字)
中国語(简体字)

あると安心！館内サイン& POPサンプル

定休日

Closed

公休／休息日

日曜日、祝祭日

Sundays and holidays

週日、假日／星期天、节假日

営業時間

Open

営業時間／营业时间

午前11:00～午後2:00

11:00 AM – 2:00 PM

上午11:00～下午2:00

上午11:00至下午2:00

年末年始休業は、

12月31日～翌年1月3日まで

The year-end and New Year holidays are
from December 31 to January 3.

新年假期公休時間為12月31日～隔年1月3日

年底年初休假为12月31日至第二年1月3日

お通しについて

Table charge

有關餐前小菜

有关餐前小吃

当店では、お客様全員にお通し
(酒席献立の最初にお出しする少量のお料理)を
お出ししております。料金を別途500円いただいております。
テーブルチャージのようなものとお考えください。

A table charge of 500 yen per person
includes an appetizer served to each customer.

本店為所有顧客提供餐前小菜(酒席菜色中首先上桌的簡單菜色)。
小菜部分另收500日圓費用，比照桌位使用費。

本店向所有客人提供餐前小吃(正餐前上的小菜)。另收 500 日元。类似餐桌费。



■ 英語
■ 中国語(繁体字)
■ 中国語(簡体字)

あと安心！館内サイン& POPサンプル

順路

Route

參觀順序
参观路线



順路

Route

參觀順序
参观路线



開館時間

Hours

開放時間／开门时间

午前10:00～午後5:00

10:00 AM – 5:00 PM

上午10:00～下午5:00／上午10:00至下午5:00

入場料金

Admission

入場費／门票价格

大人1000円、高校生800円、小・中学生500円、6歳未満 無料

Adults: ¥1,000 High school students: ¥800

Elementary & Junior high school students: ¥500 Children under 6 years of age: Free

大人1000日圓，高中生800日圓，國中・國小生500日圓，未滿6歲免費

成人1000日元，高中生800日元，中小學生500日元，不到6岁免費

展示物に手を触れないでください。

Do not touch the items exhibited.

請勿碰觸展示物。／请不要用手触摸展示物。

喫煙所以外での
おタバコはご遠慮ください。

Smoking is permitted
only in designated areas.

請勿在吸煙區以外抽煙。
請不要在吸烟处之外的場所吸煙。



あと安心！館内サイン& POPサンプル

営業時間

Hours

営業時間／营业时间

月曜日～木曜日 午前10:00～午後8:00
金曜日～日曜日 午前10:00～午後8:30
年中無休

Monday – Thursday: 10:00AM – 8:00PM

Friday – Sunday: 10:00AM – 8:30PM

Open every day of the year

週一～四	上午10:00～下午8:00	星期一至星期四	上午10:00至下午8:00
週五～日	上午10:00～下午8:30	星期五至星期天	上午10:00至下午8:30
	全年無休		全年无休

店内での飲食はご遠慮ください。

Eating inside the building is prohibited.

請勿在店內飲食。／请不要在店內飲食。

免税店

当店では、免税品を
取り扱っております。

Duty-Free Shop

We offer duty-free products

免税店	免税店
本店銷售免税商品。	本店经营免税品。

特價商品の返品はお断りしています。

We do not accept returns on discounted items.

特價商品恕不接受退貨。／特价商品不能退货。

日本円でお支払いください。

We only accept Japanese yen.

請以日圓付款。／请用日元支付

施設におけるマニュアル (交通機関)



■ 英語
■ 中国語(繁体字)
■ 中国語(簡体字)

あると安心！館内サイン& POPサンプル

乗車料金
大人220円、小人110円

Fare Adults: ¥220 Children: ¥110

車資 大人220日圓・児童110日圓
车费 大人220日元, 儿童110日元

料金は後払いです。
整理券をお取り下さい。

Please pay when disembarking.
Please take a numbered ticket.

車資事後付款。請先拿號碼牌。
车费为后付制。请拿取整理券。

料金はメーターで表示されます。

Payment is indicated on the meter.

跳表顯示車資。／计价表会显示车费。

有料道路を使うと
別途料金が加算されます。

Toll road charges are added separately.

途經付費道路時需另付相關費用。
走收费公路时要另外加费。

夜11時から朝5時までは、割り増しの深夜料金が適用されます。

Late-night charge applies between 11:00PM and 5:00AM.

晩間11點到清晨5點間、使用夜間加成費率計費。
从晚上11点至早晨5点适用加价的深夜费。

車内は禁煙です。

Smoking is prohibited.

車内禁煙。／车内禁烟。

シートベルトを着用してください。

Please fasten your seat belt.

請繫安全帶。／请系好安全带。



■ 英語
■ 中国語(繁体字)
■ 中国語(簡体字)

あると安心！館内サイン& POPサンプル

ご使用後は、水を流してください。

Please flush after use.

使用後請沖水。／用后請放水冲洗。

トイレトーパー以外のものは
流さないでください。

Do not flush items other than toilet paper.

衛生紙以外の物品請勿丟入馬桶中。
請不要丟入衛生紙以外的東西。

このトイレトーパーは水に溶けます。
使用後のトイレトーパーは便器に流してください。

This toilet paper dissolves in water. Please flush after discarding.

本衛生紙可溶於水。使用後的衛生紙請丟入馬桶後沖掉。
該衛生紙溶於水。用後的衛生紙請丟入便器內。

便座に座ってご使用ください。

Please sit as shown.

如廁時請坐在馬桶上。
請坐在馬桶座上。



Wi-Fiがご利用になれます。

Wi-Fi is available.

能使用Wi-Fi上網。／可以使用Wi-Fi。

